

入間野小学校だより1月号

令和4年1月8日(土)

狭山市北入曾980 TEL 04-2958-2718



～みんなが大切にされる学校～

校長 丸山 丁士

「**いるまの**」**「仲よくする子 考える子 やりぬく子」**の育成

～千里往って千里還る～

明けましておめでとうございます。本年も本校教職員一同、入間野小の子供たち一人一人が楽しく安全で有意義な学校生活を送ることができるよう、「千里往って千里還る」虎^{※1}のごとく日々鋭意邁進して参ります。ご支援とご協力のほど何とぞよろしくお願い申し上げます。



※1『虎は千里往(い)って千里還(かえ)る』…虎は千里(非常に遠い距離の意。又は約4km)走った後でも、巣穴にいる子供を想ってその千里の道を帰ると言われることから、親の子に対する愛情が強いことのとえ。転じて、勢いが盛んで行動力にみちていることを表す言い回しとしても使われる。

二学期の終業式では、一学期同様「命を大切に」ということと「リフレクション(振り返り)」について話題にするとともに、二学期の83日間(授業日数)が私にとっていかに短く感じられたかについても触れました。実際、地球が太陽のまわりを回る速度(公転速度)が加速しているのではないかと思えるほどでした。(ちなみに、地球の公転速度は時速約11万km(秒速約30km)で、ジェット機の約100倍の速さ!)入間野小の児童に会うことを毎日楽しみに過ごしていたら、文字通り「あっ」という声(音)と同じくらいの速さで過ぎ去った感のある二学期でした。

そして、今日の始業式では、この三学期が新しい年の始まりであり、学年の締めくくりでもあるので、「命」に加え「時間」の大切さについて伝えました。今回はそのキーワードを「目標を持つこと」と「不思議だと思ふ気持ちをもつこと」としました。ご家庭でも話題にしていただけでしたら幸甚です。

～正しく理解し正しく恐れるコロナ対策～

昨年末に、政府の新型コロナウイルス対策分科会の尾身茂会長が、感染拡大の兆しを見せる「オミクロン株」について、今がウイルスにとって格好の季節となる冬であることなどから「今後、複数の市中感染が早晩起こることはほぼ間違いない」と発言してから二週間も経たな

い正月3日。オミクロン株の国内感染者は埼玉県を含めて30都道府県で確認され、このうち19都府県では市中感染が疑われるという旨の発表が、厚生労働省よりありました。

翌4日午後には、三重県伊勢神宮を参拝後の岸田総理が、年頭記者会見で次のように話しています。「国民の皆さんにおかれては改めてマスク、手洗い、うがい、三密の回避など基本的な感染対策の徹底をお願いします」

本校でも、引き続き新型コロナ対策に万全を期し、特に授業や行事等に関しましては、慎重に計画・準備を進めて参ります。

例えば、3月23日の『卒業式』には、6年生保護者の方の参加について、各家庭お二人までを予定しておりますが、今後「警戒区域アラート」(下記参照)の発令等により、変更の可能性がありますことをご容赦下さい。

また、引き続きご家庭におかれましても、感染予防にご協力の程宜しく願いいたします。

埼玉県では、ホームページに『新型コロナウイルス感染症に係る「警戒区域アラート」等について』を掲載しています。

(<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/covid19/keikaikuiki.html>)

また、狭山市では『日別の陽性者数』を発信しています。

(<https://www.city.sayama.saitama.jp/kinkyu/coronavirus/kakuninjyoukyou/index.html>)



